



木の机・イス 学校導入事例集



平成31年 福島県

はじめに

近年、温暖化や森林破壊など地球規模の環境問題が深刻化していますが、地域木材の使用を促進し、森林の保全などによる温室効果ガス吸収源対策の推進などが有効な手段としてあげられています。このような中、学校用家具においても、地域材などを使用した木製家具（机やイス）の導入促進が強く求められています。

一方で、県は平成 18 年に森林環境税を導入し、森林の適正な保全や県民一人一人が参画する森林づくりを推進しています。その森林環境税の一部を市町村に交付して、市町村が独自性を発揮して創意工夫を凝らしたきめ細かな事業を行っています（森林環境交付金事業）。

本調査では、これまでに森林環境交付金を活用して導入された学校用家具の使用状況を調査し、その結果を基に、特色ある事例を選定し、現地調査を行いました。その成果を事例集としてまとめたものです。

○森林環境交付金事業（地域提案重点枠）とは

市町村が独自性を発揮して創意工夫を凝らした事業を展開することができるよう、森林環境基金の一部を交付するもので、市町村有施設、学校、未就学児が通う幼稚園及び保育施設、並びに地域住民が整備又は管理する集会所など公共性があり多様な利用が見込まれる施設において、県産材の利活用を行う場合に、当該事業に要する経費（原材料費、備品購入費など）について交付します。詳細は、下記福島県ホームページを参照してください。

URL : <http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/shinrinkankyousei/>

目次

はじめに

事例集

| | | | |
|----|--------------|------------------|----|
| 1 | 石川町立石川小学校 | ・・・・・・・・・・・・・・・・ | 1 |
| 2 | 古殿町立古殿小学校 | ・・・・・・・・・・・・・・・・ | 3 |
| 3 | 小野町立小野中学校 | ・・・・・・・・・・・・・・・・ | 5 |
| 4 | 柳津町立柳津小学校 | ・・・・・・・・・・・・・・・・ | 7 |
| 5 | 柳津町立柳津学園中学校 | ・・・・・・・・・・・・・・・・ | 9 |
| 6 | 南会津町立館岩小学校 | ・・・・・・・・・・・・・・・・ | 11 |
| 7 | 檜枝岐村立檜枝岐小学校 | ・・・・・・・・・・・・・・・・ | 13 |
| 8 | いわき市立中央台小学校 | ・・・・・・・・・・・・・・・・ | 15 |
| 9 | いわき市立好間第二小学校 | ・・・・・・・・・・・・・・・・ | 17 |
| 10 | いわき市立上遠野中学校 | ・・・・・・・・・・・・・・・・ | 19 |

石川町立 石川小学校 (石川郡石川町)



児童数：508名 学級数：21クラス 校舎面積 7,498㎡

家具種別：机・イス 導入年度：平成26・27年度

■ 学校概要

石川小学校は、平成27年4月1日に、石川小学校・母畑小学校・中谷第一小学校・中谷第二小学校・山形小学校・南山形小学校の町内6校が統合し開校した。校舎は平成27年9月に建築されたRC造3階建てで内装木質化されている。教育目標を「未来をひらく石川の子」としている。合唱・合奏などの音楽活動や陸上競技、自転車競技活動等、課外活動が盛んである。特に自転車競技においては全国4位（平成30年度）の成績を収めている。



内装木質化 玄関エントランス



内装木質化 廊下

■ 使用状況

机・イスは高さ調整可能であることから、全学年の教室に配備され、全児童が使用している。

天板の傷つきを防ぐため、デスクマットを使用している。



木製家具の利用状況

■ 家具の特徴

机・イスは平成26年度に270組、27年度に300組が導入された。

机 W65cm、D45cm、H52~76cm

重さ 8kg 樹種：スギ（天板）

イス W36cm、D34cm、H30~47cm

重さ 4.8kg 樹種：スギ（座面・背板）

机は天板が木製で脚部はスチール製、高さは上下可動式で52cmから76cmまで調整可能。天板は県産スギの集成材を使用。A3サイズ対応の物入れ部を備えている。

イスは座面・背板が木製で、脚部・背部はスチール製、高さは上下可動式で30cm~46cmまで調整可能。座面・背板とも合板を使用し湾曲加工が施されている。



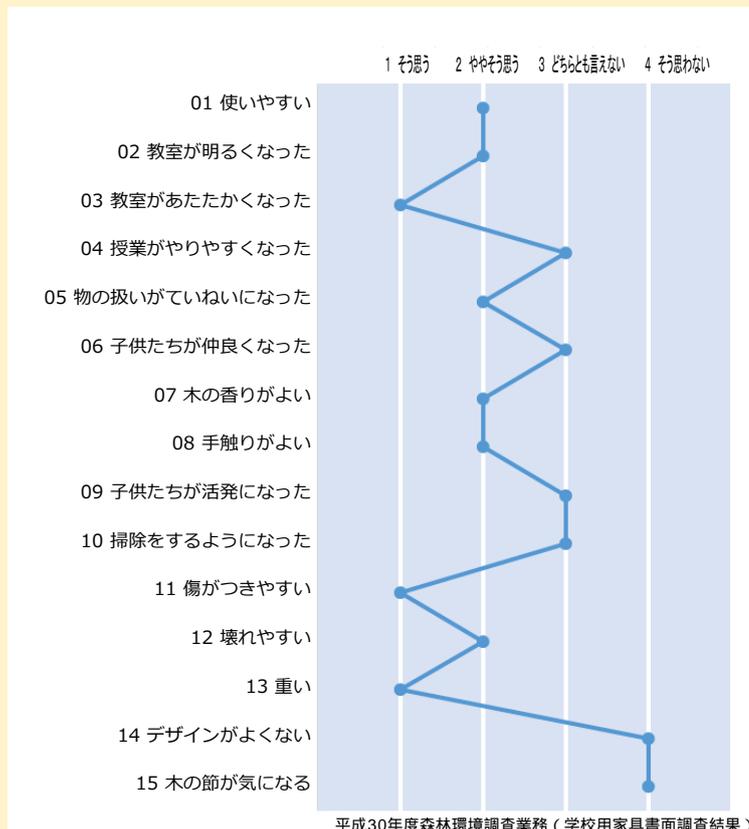
机 天板は木製、脚部はスチール製で高さ調節可能。物入れ部を備えている。



イス 座面・背板は木製、脚部はスチール製で高さ調節可能。背板に湾曲加工が施してある。

■ 使用者の評価

先生、保護者からは「見た目がよい、雰囲気が良い、木の優しさを感じられる、木質内装と合っている」との評価を得ている。



天板にデスクマットを使用している。



机・イス



児童数：279名 学級数：14クラス 校舎面積 3,389㎡

家具種別：机・イス 導入年度：平成22・23年度

■ 学校概要

古殿小学校は、平成23年に6つの小学校が統合した町内唯一の小学校である。学区が広く多くの児童がスクールバス・路線バスを利用して通学している。校舎は旧田口小学校のRC造二階建ての北校舎と統合時に新築された木造一階建ての南校舎である。北校舎は3年から6年生、南校舎は1・2年生の教室がある。教育目標を「知・徳・体の調和のとれた子ども」・「チャレンジ精神にあふれた子ども」「ふるさとに誇りをもつ子ども」を掲げている。森林に囲まれ緑あふれ、全面に芝が張られた校庭と、地元の木材をふんだんに使った温もりのある木造校舎という恵まれた教育環境にある。



森林と芝の張られた校庭



内装木質化 ホール

■ 使用状況

机・イスとも高さ調整可能であることから全学年の教室に配備され、全児童が使用している。

天板の傷つきを防ぐため、デスクマットを使用している。



木製家具の利用状況

■ 家具の特徴

机・イスは平成22年度に175組、平成23年度に120組が導入された。

机 W65cm、D45cm、H52~76cm

重さ 9kg 樹種：スギ

イス W36cm、D34cm、H30~47cm

重さ 6kg 樹種：スギ（座面・背板）

机は全て木製で、天板はスギの集成材を使用している。高さは上下可動式で調整可能。天板は横63cm、縦46cm、厚さ2cm。A3サイズ対応の物入れ部を備えている。

イスは座面・背板が木製で、脚部・背部はスチール製、高さは上下可動式。座面・背板とも県産スギの集成材を使用し、背板は湾曲加工が施されている。



机 高さ調節可能。物入れ部を備えている。



机 正面



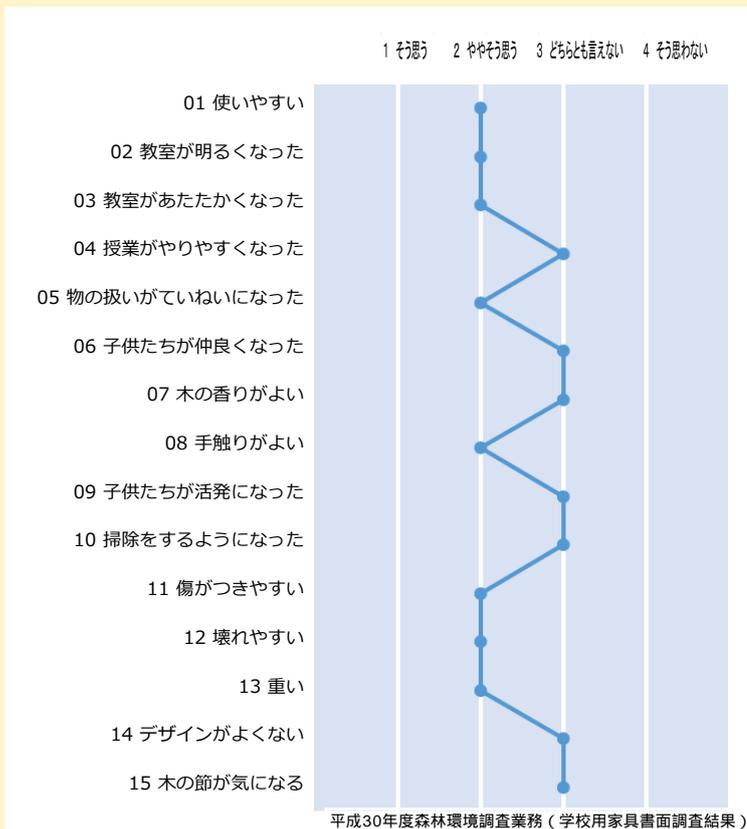
イス 座面・背板は木製、脚部はスチール製で高さ調節可能。



机・イス

■ 使用者の評価

「天板が傷つきやすく、イス座面等のメンテナンスなど、維持管理に手間を要する」という意見が先生からあった。



小野町立 小野中学校

(田村郡小野町)

生徒数：262名 学級数：11クラス 校舎面積 7,493㎡

家具種別：机・イス 導入年度：平成22年度



■ 学校概要

平成26年4月1日に浮金中学と統合。校舎は平成22年12月に竣工されたRC造三階建てである。内装木質化されている。自立・友愛・健康を教育目標としている。部活動も活発。女子柔道個人東北大会5位、野球県大会3位（平成30年度）の成績を収めている。



内装木質化 エントランス

■ 使用状況

机・イスとも全教室に配備されている。天板の傷つきを防ぐため、デスクマットを使用している。脚部がスチール製の机・イスも使用しており、木製とスチール製が混在して使用されている教室もある。

木製の机・イスは校舎新築時に導入されたもので、内装との調和がとれている。



内装木質化 廊下



木製家具の利用状況

■ 家具の特徴

机・イスは平成22年度に360組が導入された。

机 W65cm、D47cm、H70cm

重さ 8kg 樹種：スギ

イス W40cm、D40cm、H42cm

重さ 4kg 樹種：スギ

机は天板、脚部ともに木製で、高さは固定式である。

天板は県産スギの集成材を使用し、横65cm、縦47cm、厚さは2cm。脚部はスギの無垢材を使用している。A3サイズ対応の物入れ部を備えている。

イスは座面・背板・脚部とも木製で、高さは固定式である。座面は県産スギの集成材、背板・脚部は県産スギのムク板を使用している。



机 物入れ部を備えている。



イス 座面・背板ともに木製、湾曲加工はなし



机・イスとも高さは固定式

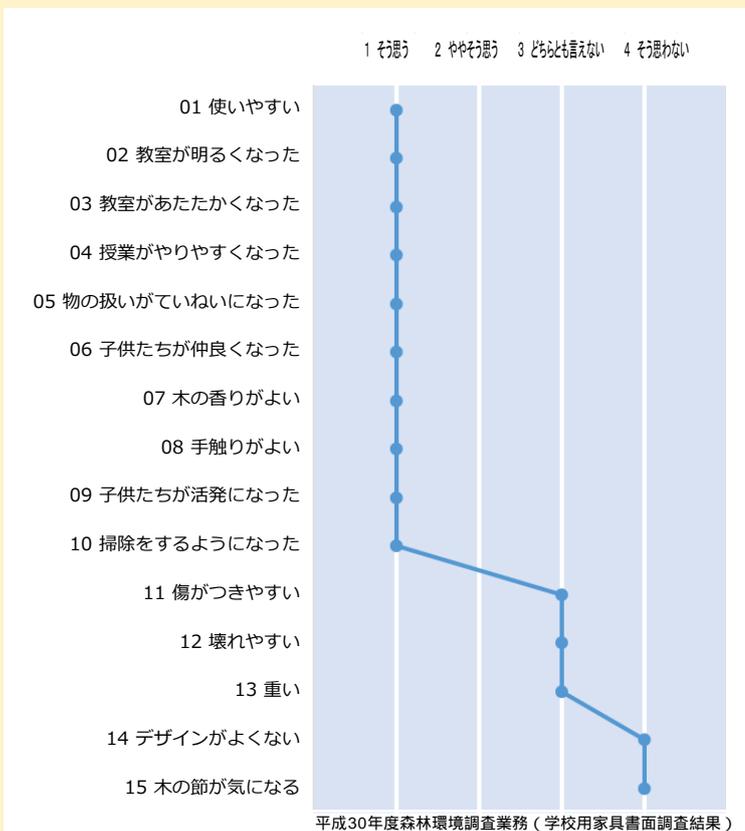


机・イス重ね状況

■ 使用者の評価

「見た目が良い、雰囲気が良い、木の優しさを感じられる、木質内装と合っている」との評価のほか、

「落書きなどもなく、生徒たちは丁寧に扱っている印象がある」という評価が先生からあった。





児童数：123名 学級数：8クラス 校舎面積 4,255㎡

家具種別：机・イス 導入年度：平成23年度

■ 学校概要

柳津小学校は学区が広く、半数以上の児童がスクールバス・路線バスを利用し通学する。校舎は昭和46年に建築されたRC造三階建てで、平成24年に大規模改修が行われたが、その際、教室・廊下の腰壁部等をスギ間伐材を使用して内装木質化を行った。平成26、27年には図書室に木製家具（棚・テーブル・イス）が導入された。町の学校教育の重点を受け「かしこく やさしく たくましく」を教育目標としている。他の小・中学校との連携交流の推進と、保護者や地域の住民への授業参観など、開かれた学校づくりを進めている。

■ 使用状況

机・イスとも高さがJIS規格2号から5号まで4種類が整備され、全学年・全児童が使用している。

123名の児童に対して160組が整備されていることから、教室での使用に加え、供用スペースにおいても使用されている。



内装木質化 廊下



内装木質化 木製家具が整備された図書室



木製家具の利用状況

■ 家具の特徴

机・イスは平成23年度に160組が導入された。

机 W65cm、D45cm、H52~70cm

重さ 7.5~9kg 樹種：スギ

イス W36cm、D34cm、H30~42cm

重さ 4kg 樹種：スギ

机は天板から脚部まで県産スギ材による木製である。

天板はスギの集成材を使用し、脚部はスギ無垢材を使用。高さは52cmから70cmまで4種。A3サイズ対応の物入れ部を備えている。

イスは座面・背板・脚部まで県産スギ材による木製である。高さは、30cmから42cm。座面はスギ幅はぎ材を使用し、背板・脚部はスギ無垢材を使用している。



机 全て木製。固定式。物入れ部を備えている。



イス 全て木製。固定式



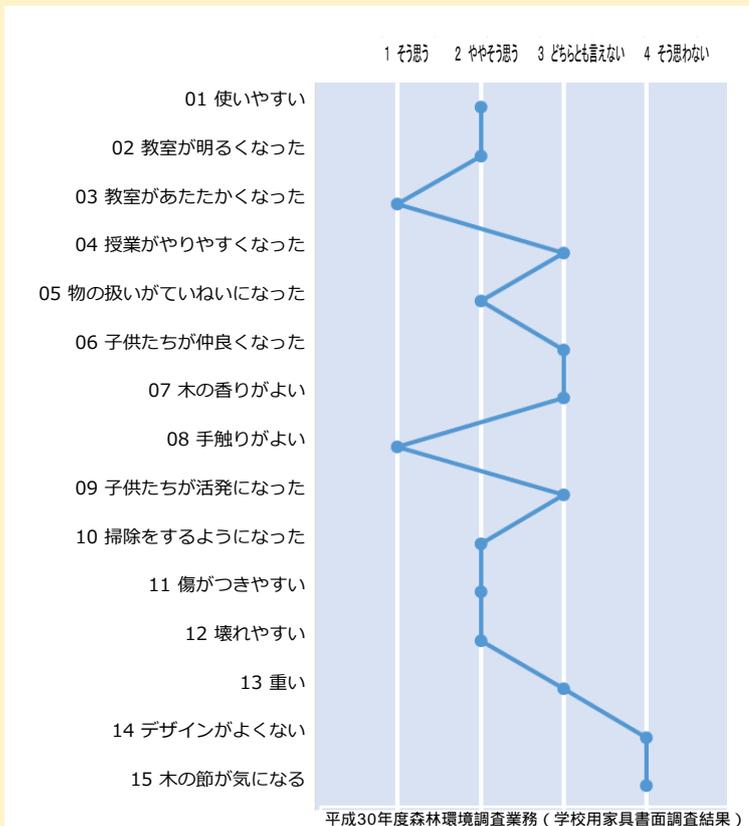
机・イス



図書室の様子

■ 使用者の評価

「木製家具は温かみがある、掃除の時など机・イスを移動する際、児童には重い」という評価が先生からあった。





生徒数：78名 学級数：5クラス 校舎面積 2,278㎡

家具種別：机・イス 導入年度：平成24・25年度

■ 学校概要

会津柳津学園中学校は平成30年4月1日に、柳津中学校・西山中学校の町内2校が統合し、町唯一の中学校となった。校舎は旧柳津中学校校舎でRC造三階建てである。近年、耐震工事と同時に廊下・共有スペース等の内装木質化を行った。教育目標を「未来を創造し、社会に貢献する人材の育成」としている。校舎玄関には、校庭にあったスギから制作された円盤が飾られている、また校舎内には、生徒が木工の授業で作成した木製ベンチが複数配置され、活用されている。



内装木質化 廊下・共有スペース



校舎玄関 校庭にあったスギの円盤

■ 使用状況

机・イスとも、全学年・全生徒が使用している。教室での使用に加え、共用スペースにおいても使用されている。

生徒は入学時から卒業まで同じ机・イスを使用する。



授業で制作された木製ベンチ

■ 家具の特徴

机・イスは平成24年度に100組（旧柳津中学校）、25年度に20組（旧西山中学校）が導入された。

机 W65cm、D45cm、H70,76cm

重さ 9kg 樹種：スギ

イス W40cm、47cm、H42cm

重さ 4kg 樹種：スギ

机は天板から脚部まで県産スギ材による木製。天板は県産スギの集成材を使用し、横65cm、縦45cm、厚さ2cm。A3サイズ対応の物入れ部を備えている。ウレタン塗装仕上げ。

イスは座面・背板・脚部まで県産スギ材による木製。座面は県産スギの集成材を使用し、脚部は無垢材を使用している。



机 全て木製。固定式。物入れ部を備えている。



イス 全て木製。固定式

■ 使用者の評価

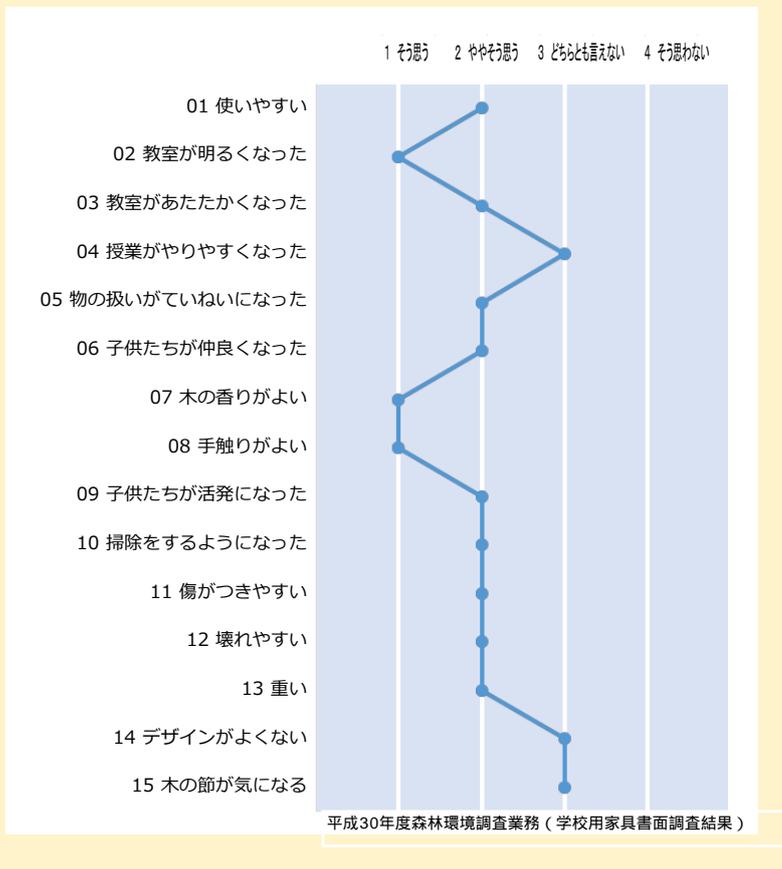
「見た目が良く、学校の環境とマッチしている」との評価だが、座面と部材が乖離し、座面が割れることがあり、補修を必要とする場合がある。



天板 ウレタン塗装仕上げ 傷少ない



木製家具の利用状況





児童数：44名 学級数：6クラス 校舎面積 2,722m²

家具種別：共用テーブル・イス 導入年度：平成19年度

■ 学校概要

平成20年4月に、館岩小学校・上郷小学校の2校が統合し、現在の館岩小学校となった。校舎は同年3月に現在の住所に建築された、RC造二階建てである。校舎の内・外装とも木質化されている。教育目標を「共に生き（思いやりのある子）共に学び合う（よく考える子）心身共に健康な児童の育成（たくましい子）」としている。開校以来、福島県たなばた展・福島県書き初め展において優秀な成績を納めている。初夏の田代山登山、夏の川遊び、冬のスキー教室など身近な自然と接する学校行事が盛んである。近年、児童の減少がある。

■ 使用状況

テーブル（台形でイス使用及び半円形・長方形で座卓）はオープンスペースにおいて共同作業やグループ討議に活用されるほか、夏休みの作品展示等様々な場面で使用されている。また、家庭科室・図工室の作業台、図書室において机として使用されている。共有スペース及び特別教室に配置・使用されていることから全児童が使用している。イスは2階共有スペースに配置され、集会に使用される。また、授業参観日には保護者にも使用される。



外装木質化 玄関付近



内装木質化 共有スペース



木製家具の利用状況

■ 家具の特徴

平成19年度にテーブル62台、イス72台、教卓1台が導入された。

テーブル W120・60cm、D52・60cm、
H58・70・30cm 樹種：ヒノキ

イス W40cm、D40cm、H40cm、 樹種：ヒノキ
オープンスペース用テーブルは台形・半円形・長方形の三種。台形は高さが58cmと70cmの2種あり「イス掛け」仕様。半円形・長方形は高さが30cmで「お座り」座卓仕様。三種とも天板は厚さ3cmの集成材、脚はスチール製丸パイプ。

家庭科室用作業台は天板が厚さ3cmの集成材、脚はスチール丸パイプ。図工室作業台は天板が厚さ3cmの集成材、脚部は木製。

イスは座面・背板・脚部全て木製。座面は集成材、背板無垢板を使用し湾曲加工が施されている。



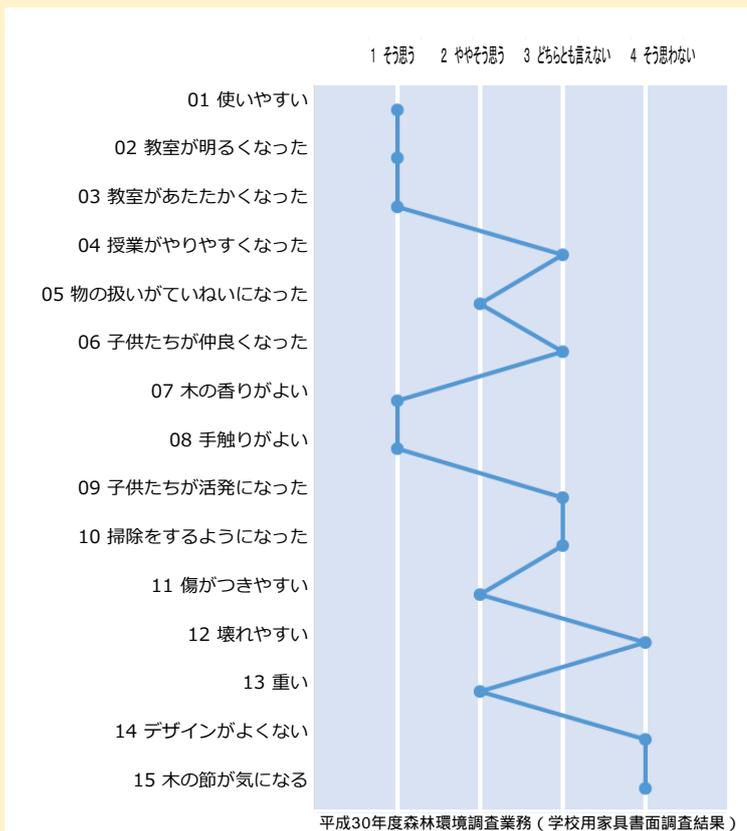
テーブル 天板は木製で集成材・脚部はスチール製



イス 座面・背板・脚部木製。
背板に湾曲加工が施されている

■ 使用者の評価

内装木質との一体感があり、「お座り」座卓用テーブルは高さが児童にあっており、1年生にも使われている。



テーブルキュアスター・ストッパー付



テーブル「お座り」座卓 長方形タイプ
組み合わせて使用



児童数：26名 学級数：4クラス 校舎面積 1,344㎡

家具種別：共用テーブル・イス 導入年度：平成24年度

■ 学校概要

明治6年古町小学校檜枝岐分校として開設、昭和22年に檜枝岐村立檜枝岐小学校と改称し小中学校が併設された。現校舎は昭和59年12月に新築されたRC造三階建てである。平成24年度から会津・南会津地区初の施設一体型小中一貫校としてスタートし、小学1年生から中学3年生までの9年間を見通し、発達段階に応じたきめ細かな小中一貫教育が行われている。この一貫教育のスタートに合わせて校舎の一部が内装木質化された。尾瀬ヶ原・尾瀬沼ハイク、曲げ輪づくり、山人料理づくり等郷土学習やクロスカントリースキー等の体力作りなど、村の歴史と自然環境を活かした特色ある学習を行っている。給食時には、小中学生と校長を含めた先生と一緒にランチルームでとっている。



内装木質化 共有スペース



内装木質化 校長室前

■ 使用状況

テーブル・イスともランチルームに配置され、小中全校生が先生と共に使用している。



木製家具の利用状況 ランチルーム

■ 家具の特徴

平成24年度にテーブル16台、イス88台が導入された。

テーブル W70cm、D150・120cm、H70cm

樹種：カラマツ

イス W40cm、D40cm、H40cm、

樹種：カラマツ

カラマツの幅はぎ材を使用している。テーブルは長さが150cmの6人用と120cmの4人用がある。

イスは座面が円形で中央に凹の加工が施してあり、背板をもたない。



テーブル 側面



テーブル 正面



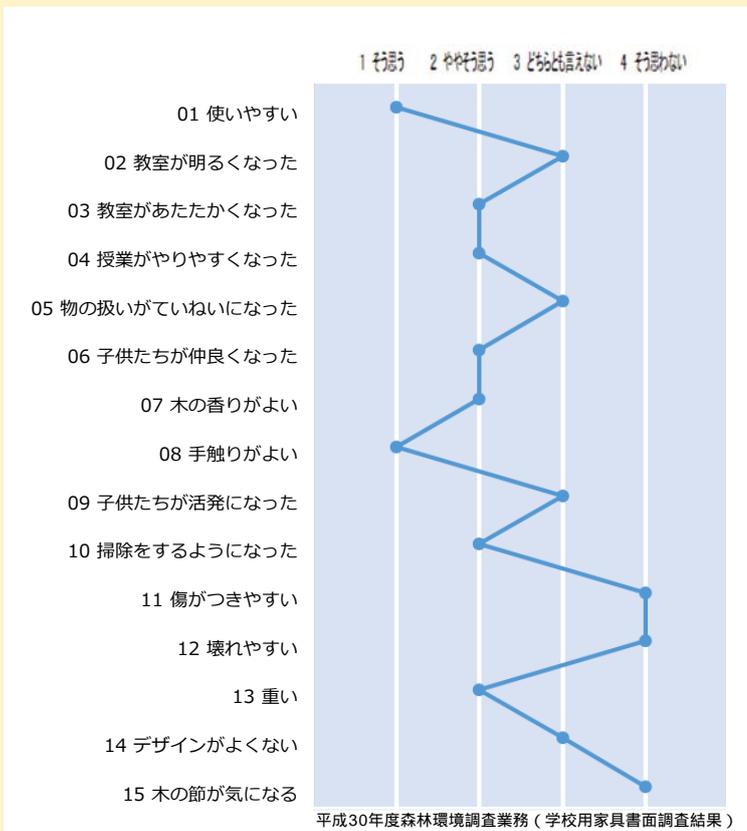
テーブル 表面



イス 側面

■ 使用者の評価

「使い勝手もよく、木のあたたかみがあり、色も木質のランチルームとマッチしている、メンタル面で良い効果をもたらしている、イスは座りやすく、適度な重さにより動くことがなく安全に使用している」との評価がある。





児童数：308名 学級数：13クラス 校舎面積 5,270㎡

家具種別：机 導入年度：平成19年度

■ 学校概要

平成3年4月1日開校した。校舎は平成3年2月に完成したRC造三階建てである。開校時800名であった児童数は平成6・7年度には1,000名を超えたが、平成8年度に中央台鹿島地区が中央台南小学校へ分離し、それ以降は減少に転じ、現在は308名となっている。市小教研研究推進校・学校緑化推進指定校・基礎学力向上支援校等を務めるなど、教育研究の発展に実践分野から寄与している。教育目標を「逞しさとしなやかさを兼ね備え社会を生き抜く人間の育成を目指して考える子ども・思いやりのある子ども・健康な子ども」としている。

■ 使用状況

机は、高さ調節が可能であることから、全教室に配置され全児童が使用している。

天板の傷つきを防ぐため、デスクマットを使用している。



内装 玄関エントランス



内装 廊下



木製家具の利用状況

■ 家具の特徴

机は平成19年度に333組が導入された。

机 W65cm、D45cm、H52~76cm

重さ 7.8kg 樹種：スギ（天板）

県産スギの幅はぎ材の天板がスチール製の脚部に付けられている。高さは上下可動式（新JIS規格2号~6号）で52cmから76cmまで調整可能。天板の厚さは2cm、A3サイズ対応の物入れ部を備えている。

イスは座面・背板がプラスチック製で、脚部はスチール製、高さは上下可動式。座面・背板とも湾曲加工が施されている。



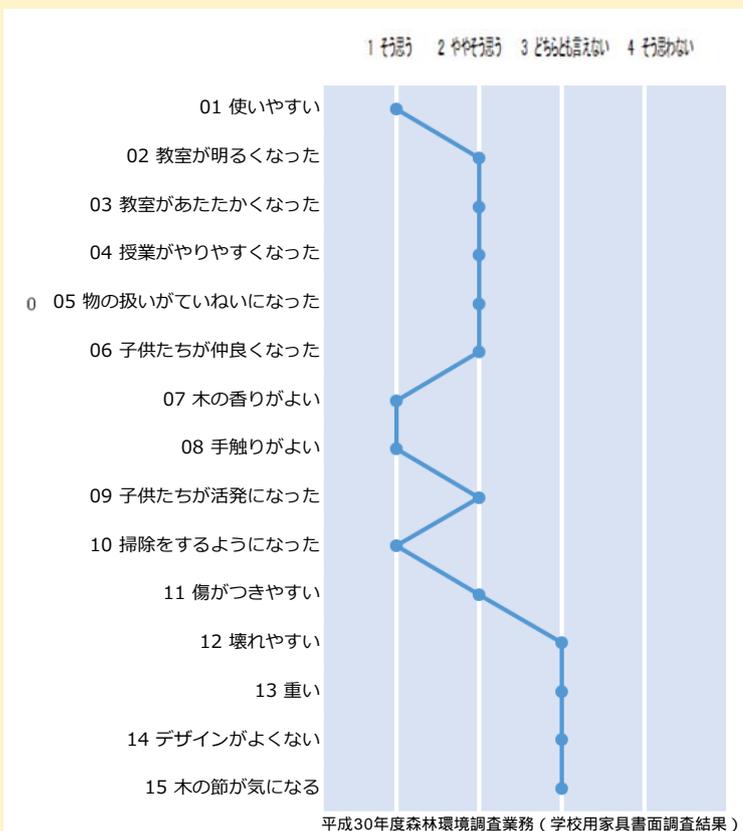
机 天板は木製・脚部はスチール製
物入れ部を備えている



机 高さ調節が可能。

■ 使用者の評価

「低学年が移動させるには重く感じる」との評価があり、経年により天板が脚部から外れたものもある。



イス 座面・背板がプラスチック製で、
脚部はスチール製



木製家具の利用状況



児童数：225名 学級数：11クラス 校舎面積 3,872㎡

家具種別：机 導入年度：平成27年度

■ 学校概要

明治6年川中子小学校として開設、明治25年に好間第二小学校となり、昭和41年10月いわき市立好間第二小学校に改称された。現校舎は昭和56年2月に完成したRC造三階建てである。かつては農村地帯の中の小さな学校であったが、周囲の開発が進み、学区内に工業団地や住宅団地ができたことから、一時期児童数が増え、500名を越した時期もあったが、平成5年頃を境に少しずつ減少してきた。サラリーマン家庭に児童がほとんどである。教育目標を「学ぶ子ども 健康な子ども 助け合う子ども」としている。



内装 廊下



内装 教室

■ 使用状況

机は1年生全員が使用し、高さが調節可能であることから、高学年においても使用されている。

天板の傷つきを防ぐため、デスクマットを使用している。



木製家具の利用状況

■ 家具の特徴

机は平成27年度に41組が導入された。

机 W65cm、D45cm、H52~76cm

重さ 7.4kg 樹種：スギ（天板）

県産スギの幅はぎ材を特殊圧縮加工した天板がスチール製の脚部に付けられている。高さは上下可動式（新JIS規格2号~6号）で52cmから76cmまで調整可能。天板の厚さ2cm。A3サイズ対応の物入れ部を備えている。

イスは座面・背板がプラスチック製で、脚部はスチール製、高さは上下可動式。座面・背板とも湾曲加工が施されている。



机 天板は木製・脚部はスチール製
イス スチール製



机 脚部の高さ調節機能



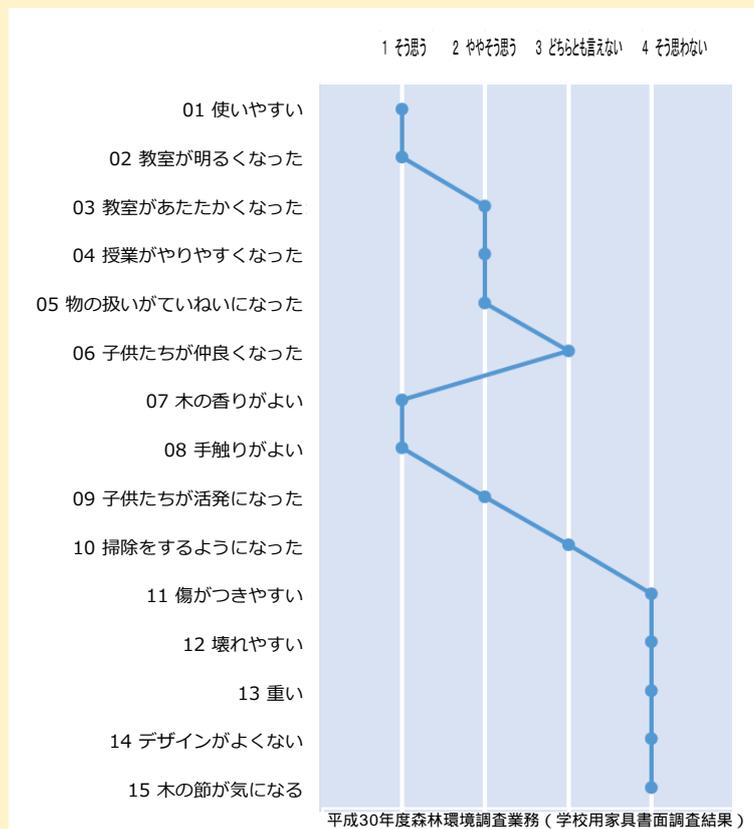
特殊圧縮加工を施した天板
デスクマットを使用している。



机・イス

■ 使用者の評価

「温かみがあって使いやすい、特殊圧縮加工が施された天板は傷つきにくい」との評価がある。



いわき市立 上遠野中学校 (いわき市遠野町)



生徒数：91名 学級数：4クラス 校舎面積 2,291㎡

家具種別：机天板 導入年度：平成27年度

■ 学校概要

平成21年度に小中連携指定校・学びの習慣育成指定校となる。校舎は平成21年に木造2階建て校舎に建て替えられた。内装も木質化がされている。教育目標を、遠野の豊かな自然と小規模校の特性を生かして「学習への意欲をもち、心身の健康を善用し、生きる力を育むことのできる生徒の育成」としている。



内装 玄関エントランス



内装 廊下

■ 使用状況

1学年と2学年で使用している。

平成27年度の導入数は55組で、人数分はないため、平成21年度に導入されたものと併せて使用している。

机・イスとも高さ調整は可能である。

天板の傷つきを防ぐため、デスクマットを使用している。



木製家具の利用状況

■ 家具の特徴

机は天板が木製で脚部はスチール製で平成27年度に55組が導入された。

机 W65cm、D45cm、H76cm

重さ 8kg 樹種：スギ（天板）

県産スギの幅はぎ材を特殊圧縮加工した天板がスチール製の脚部に付けられている。高さは上下可動式で52cmから76cmまで調整可能。天板の厚さは2cm、A3サイズ対応の物入れ部を備えている。

イスは座面・背板がプラスチック製で脚部はスチール製、高さは上下可動式。座面・背板とも湾曲加工が施されている。



机 天板は木製・脚部はスチール製
イス スチール製



机 イスともに高さ調節可能
イスは座面と背面に湾曲加工が施してある



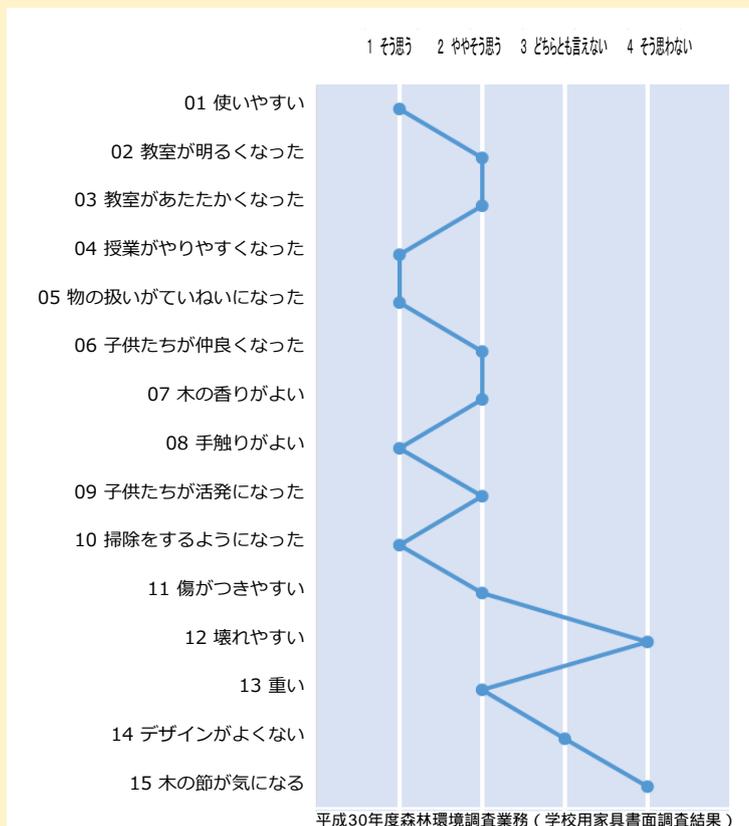
特殊圧縮加工を施した天板
デスクマットを使用している。



机・イス

■ 使用者の評価

教員・保護者からは「見た目が良い、雰囲気が良い、木の優しさを感じられる、木質内装と合っている」との評価である。



お問い合わせ

福島県農林水産部森林計画課

〒960-8670 福島市杉妻町 2-16（県庁西庁舎 6 階）

電話 024-521-7425

H P <http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/shinrinkankyousei/>

検索

この事例集は、森林環境税を活用して作成しました。

平成 3 1 年 2 月